

# 千葉県がん対策推進計画の概要について

## 1 基本理念

### ちからを合わせてがんのうち克つちば

がん医療の水準は着実に進歩していますが、第1章で述べたように、急速な高齢化によるがん患者の増加にがん医療が対応していくには、県民が、予防から治療に至るまで適切な行動及び選択ができ、これに対する情報と相談による支援が適切に行われる必要があります。その上で、がん及びがん患者に対する社会の理解とともに、がんに関しても、患者が自分らしく地域の中で生き生きと生活できることが重要です。

千葉県では、県民と医療・福祉関係者、患者団体、行政、事業者等が、より一層の連携・協力により、がん対策を総合的かつ計画的に推進し、「ちからを合わせてがんのうち克つちば」を目指します。

## 2 全体目標

基本理念の実現に向けて、全体目標を次の2つとします。

### 【全体目標1】

#### がんによる死亡率を減らしていきます

〈数値目標〉 現行計画策定時に確定していた平成17年の統計数値と比較して、今後10年間の目標数値として、**75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の20%減少**

### 【全体目標2】

**がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる社会を目指します**

### 3 施策の体系

**予防・早期発見**

がん対策はまず、県民が自ら行動するところから始まります。それが、予防・早期発見です。

- (1) 予防
  - たばこ対策の充実
  - 生活習慣等の改善
  - がん予防の知識の普及啓発
- (2) 早期発見
  - がん検診の受診率の向上
  - がん検診の精度管理の向上
- (3) 個別のがんに対する特徴的な予防・早期発見
- (4) がんに関する教育

**医療**

がん患者に対し良質ながん医療の提供が必要です。

- (1) がん医療
  - がん診療連携拠点病院及び千葉県がん診療連携協力病院の整備と循環型地域医療連携システムの構築
  - 手術、放射線及び化学療法等の設備・体制の充実とチーム医療の推進
  - がん医療を担う人材育成
  - 口腔ケアに関する医科歯科連携の推進
- (2) 緩和ケアの推進
  - がんと診断された時からの緩和ケアの推進
  - 終末期の緩和ケアの推進
- (3) 小児がん等の対策

**相談・情報提供・患者の生活支援**

県民一人ひとりががんをよく知り、予防から治療に至るまで適切な行動及び選択ができ、がん患者ががんと向き合いながら生活の質を向上するには、情報提供や相談を通じたさまざまな支援が必要となります。

- (1) 相談支援・情報提供
  - 相談支援の充実
  - 情報提供の充実
- (2) 患者の生活支援
  - 食と栄養のトータルケア
  - がん患者の就労に関する問題への対応

**研究等**

上記の全体にわたり、より効果的な対策を進めるためには、研究・がん登録の推進は欠かせません。

- (1) 研究
  - 基礎研究・橋渡し研究の推進
  - 臨床研究（臨床試験・治験等）の促進
  - 将来のがん予防のための疫学研究の推進
- (2) がん登録の推進及び活用
  - 地域がん登録
  - 院内がん登録

### がん対策の推進体制

